

2月の野菜の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	11,672	100	11,718	100	90	95	-	0.0	神奈川、千葉産中心で全体の約9割を占める。神奈川、千葉ともに1月の低温と少雨の影響で根部の肥大が遅れており、2Lサイズの比率が例年より少なく、全体的に小振り傾向である。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
はくさい	12,660	100	12,513	74	95	67	-	0.0	茨城、群馬、兵庫産中心で全体の約9割を占める。茨城、群馬は秋の台風や1月の低温と少雨の影響で肥大が遅れ、小振り傾向となっている。兵庫は概ね生育順調で、入荷量は前年並みとなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回るものの平年よりは高くなる見込み。
キャベツ類	14,005	100	14,101	109	101	116	-	0.0	愛知、千葉、神奈川産中心の入荷で全体の約9割を占める。愛知は1月の低温と少雨の影響で生育がやや遅れており、小玉傾向で、入荷量は前年より少なくなる。千葉、神奈川は11月中旬以降の低温の影響で小玉傾向となっているが、入荷量は少なかった前年を上回る見込み。全体の入荷量、価格ともほぼ前年並みの見込み。
ほうれんそう	1,831	98	1,758	362	116	401	-	0.0	群馬、茨城、埼玉、千葉産など関東ものの中心の入荷となる。関東産は1月の低温と乾燥の影響で生育は停滞気味で推移しており、入荷量は前年をやや下回る。全体の入荷量はほぼ前年並み、価格は前年を大幅に上回り平年よりも高くなる見込み。
ねぎ	4,546	100	4,599	246	98	267	27	0.6	千葉、埼玉、茨城、群馬産など関東ものの中心の入荷となる。千葉は秋の台風や11月の少雨等の影響により生育が遅れていたものの、回復してきており、入荷量は前年並みとなる。埼玉は生育、肥大とも順調で、2Lサイズ中心の入荷となる。全体の入荷量は前年並み、価格もほぼ前年並みの見込み。
きゅうり	4,932	100	4,856	313	109	366	-	0.0	宮崎、千葉、高知、群馬産中心の入荷となる。宮崎、高知は概ね生育順調に推移しており、入荷量は前年並みとなる。関東産は1月の低温の影響で生育が遅れており、入荷量は前年よりやや少なくなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり上回るものの平年よりは低くなる見込み。
トマト	4,723	100	4,840	409	93	395	-	0.0	熊本、栃木、愛知産中心の入荷となる。熊本は生育、着果状況とも良好で、入荷量は前年をやや上回る。愛知は低温の影響で着色が遅れているが、着果状況は問題なく、入荷量は前年並みとなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。